

**記入例**（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

## 調書（１） 都道府県、団体

(様式3の1、様式3の2)

令和7年11月1日 現在

都道府県番号	○	推薦都道府県名 推薦団体名	職業部門	第5部門	職種名(1)	職種名(2)	氏名・現就業先事業所名の 外字	例:「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字、「◎」の字は「○」の字の偏が〜となった字(フォント「△△」で表示可能)等
		〇〇県 または 一般社団法人〇〇協会			電子応用機械器具 組立工	電子計算機組立工		

### 推薦都道府県名欄、都道府県番号欄

プルダウンから推薦都道府県名を選択。  
選択した都道府県に対応する番号が自動で都道府県番号欄に挿入される。

### 推薦団体名欄

### 職業部門番号欄、職種名(1)

#### (2) 欄

「実施要領 別表」第1部門～第21部門を参考に職種をプルダウンにて選択し、記入。

### 氏名・現就業先事業所名の 外字欄

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ず記入。

### 氏名・ふりがな・性別欄

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に**全角スペースを1つ挿入**する。  
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

ふりがな	ぎのう しゅういち	性別	男	技能・技術が 分かるサイト等 (HPのURLを記載)	<a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/meikou/index.html</a>
氏名	技能 秀一				
生年月日	昭和31年12月10日	年齢	68		
現住所	〒 000-0000 都道府県 〇〇県 市区町村 〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇 〇〇マンション〇〇号室 TEL 000-000-0000				

### 技能・技術が分かるサイト等欄

自身の技能や技術が分かるサイト(会社・団体HP等)があれば記入。

### 生年月日・年齢欄

生年月日を入力すると和暦に変換される。  
入力は西暦で「yyyy/mm/dd」(スラッシュ区切り)のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。

### 現住所欄

被推薦者の現住所および電話番号を記入する。都道府県はプルダウンにて選択。  
住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入。

### 就業先欄

所属企業欄には、雇用企業名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入(法人格を省略しないこと)。拠点名があれば記入する。(例:「〇〇工場」「〇〇支店」「〇〇営業所」)  
また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さずに記入する。  
推薦時に、令和7年11月1日以前に就業地の変更が確定している場合は「(〇月〇日より変更予定)」と記入。なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

### 職歴欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。  
団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴とする。  
現役の場合は最後に「として現在に至る」と記入。

就業先(都道府県)	〇〇県	企業全体の従業員数欄 被推薦者も含めた人数を半角数字で入力する。就業者が被推薦者のみの場合は、1と入力する。 ※事業所の人数は記載しない。	職歴		在職期間(年月日)	在職年月数
所属名	〇〇電機 株式会社 〇〇工場		〇〇電機(株)第二製造部〇〇課に電機として就職	S49.4.1 ~ S51.3.31	2年0月	
企業全体の従業員数	1,500人		〇〇電機(株)〇〇工場 第一製造部〇〇課電子機器組立工として就職	S51.4.1 ~ H3.3.15	14年11月	
所在地	〒 111-1111 都道府県 〇〇県 市区町村 〇△市〇△区〇△町111-1 TEL 000-111-1111	主任	H3.3.16 ~ H11.9.30	8年6月		
		〇〇長	H11.10.1 ~ H26.3.31	14年6月		
		〇長として現在に至る	H26.4.1 ~ R7.11.1	11年7月		
			在職期間 計	50年6ヶ月		
			重複期間を除く在職期間 計	50年6ヶ月		

### 在職期間(年月日)・在職年月数欄

上記「生年月日」欄と同様に在職期間を正しく入力すると和暦に変換され、「在職年月数」欄に在職年月数が自動で入力される。

をもって終期とすること。

**表彰歴、免許・資格、大会入賞歴・技能検定等写しの提出について**

本調書に記入した表彰や入賞歴などは、証する写しを全て、「その他資料」もしくは「様式4 写真」として提出すること。その際には、表彰名や免許、資格名に①、②と番号を振り、根拠となる写しのファイルにも同様に①、②と番号を付すことで、どの根拠資料を示しているかが明確に分かるよう工夫すること。

	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
表彰歴	大臣表彰	①第〇回〇〇技能競技全国大会（〇〇の部）〇〇大臣表彰	H〇年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	②卓越技能者〇〇県知事表彰：〇〇に係る卓越技能について表彰	H〇年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
	その他	③優秀技能者〇〇市長表彰：〇〇に係る優秀技能について表彰 ④〇〇県職業能力開発協会会長表彰：技能検定の推進貢献について表彰	H〇年〇月 H〇年〇月

**表彰歴欄**

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入。（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入）表彰の種類は、上段より順に該当項目に記入。

- ・「〇〇大臣賞」の場合は大臣表彰。
- ・「〇〇マイスター（〇〇知事賞）」の場合は知事・行政機関の局長表彰。
- ・「一般社団法人〇〇協会会長賞」の場合は全国レベルの業界団体表彰。

**免許・資格等**

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、免許・資格等の概要と取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。

	免許の種類	免許・資格等の概要	取得年月
免許・資格等	職業訓練指導員免許	⑤機械科	H〇年〇月
	技能検定委員	⑥〇〇県技能検定委員（機械）	H〇年〇月
	特許・実用新案等	⑦特許123456「〇〇用装置の考案」	H〇年〇月

**大会入賞歴等欄**

高度熟練技能者、ものづくりマイスター、全技連マイスターに該当する場合は、認定された年度（元号アルファベット+数字）、業種、職種を記入。

技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入。

**技能検定欄**

等級は漢数字で記入。  
技能士の名称、取得年月を記入。

大会入賞歴等	認定年度	職種		技能検定	等級	技能士の名称	取得年月
		参加職種	順位				
		高度熟練技能者					
	H28	ものづくりマイスター	⑧〇〇〇〇		一級	⑩電気機器組立技能士	H〇年〇月
		全技連マイスター					
		技能グランプリ（一級技能士競技大会）					
	〇回	技能五輪国際大会入賞歴	⑨機械職種				〇位
		技能五輪全国大会入賞歴					

**記入例**（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

**調書（２） 都道府県、団体**

（様式３の１、様式３の２）

都道府県番号	推薦都道府県名 推薦団体名	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ぎのう しゅういち
○	○○県 または 一般社団法人○○協会	第5部門	電子応用機械器具組 立工	電子計算機組立工	氏名	技能 秀一

**過去5年の推薦回数欄**

過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について推薦された年度を記入し、合計回数を確認する。

**都道府県番号欄、推薦都道府県名、推薦団体名、職業部門、職種名（１）、職種名（２）、氏名欄**

調書(1)に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数		推薦者及び推薦理由	(所在地又は住所)	推薦者及び推薦理由 推薦者の所在地または住所、電話番号及びその推薦理由を記入する。推薦者氏名は、都道府県知事名または団体代表者氏名とするが、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記し、職務代行者名を記入。 都道府県知事推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由も併せて記入。
令和4	年度		〒 111-1234	
令和3	年度		都道府県 ○○県	
	年度		市区町村 ○○市○○町○○○	
	年度		(推薦都道府県知事名) または (推薦団体の代表者名) TEL 000-111-2222	
計	2 回		○○県知事 ○○ ○○ または、 一般社団法人○○協会 会長 ○○ ○○	
推薦順位等			(推薦理由)	
選考対象者総数	36人	(推薦理由) 電子分野の試作品製作における「はんだ付け」を始め、試作品の完成されるまでに必要な電子回路技術、組付技能、計測・評価技能などの電子機器組立に関する技能に卓越している。その技能を活かして、宇宙産業機器や自動車用電子制御製品、ITS製品などの多くの試作を担当し、製品化まで導いた。また、幾多の改善による生産性及び品質の向上や、職場安全に寄与するとともに、多くの後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承するなど、多くの実績があり、県1位として推薦する。		
推薦総数	7人			
推薦順位	1位			

**推薦順位等欄**

・選考対象者総数欄・・・推薦に当たり、被推薦者とならなかった者も含め選考の対象とした全ての人数を記入。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載し、潜在的人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意する。  
・推薦総数欄・・・被推薦者の全部門における総数を記入。（1人のみ推薦の団体は不要）  
・推薦順位欄・・・被推薦者の全部門における推薦順位を記入。（1人のみ推薦の団体は不要）

**卓越した技能の概要欄**

P10 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上記入。一葉で記入することが困難な場合は、調書（3）まで記載して差し支えない。

卓越した技能の概要			
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性
電子分野の試作品製作に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. 高信頼性を保障する組立技能 電子機器組立の「はんだ付け」技能と、振動を考慮した組立技能を修練し、その経験と研究から、信頼性の高い工法や工程を生み出したその技能は、ハイブリッド車や燃料電池車に搭載されている電子制御製品の試作でも基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。 2. プリント板アートワーク技能 電子製品の試作では、小型軽量化が重要課題とされ、その完成度はプリント基板の部品実装密度に大きく左右される。その中でもプリント板のアートワーク作業において、これまで培った優れたノウハウをベースに創意工夫と研究を重ね、新たなアートワークの工法を生み出した。その技能は現在標準化され、多くの電子製品の試作に適用されている。	1. 宇宙産業機器への貢献 人工衛星搭載用の低振動モータと宇宙環境測定装置の製作において、米国航空宇宙局の要求基準をクリアし、製品化を実現した。この技能は、現在運用中の国際宇宙ステーションの実験モジュール内で使用する真空ポンプ用コントローラの製造にも用いられ、宇宙産業事業の拡大に貢献した。 2. モータースポーツ活動への貢献 エンジン性能の向上を目指したエンジン制御用コンピュータの試作と量産に取り組み、その結果、高性能な電子部品の組立品質の向上に貢献した。 現在、この工法は標準化され、試作品の組立工法として広く活用されることとなった。	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに○○名を合格させ、○○県技能競技大会において1位入賞者○○名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに○○人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞○○名の成績を獲得させると共に○○年の国際大会でも1位入賞を果たさせる等、高い指導能力を発揮した。 3. 技能検定補佐員として○○年にわたり尽力し、○○年から検定委員として、検定（電子機器・配電盤組立）の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。	技能五輪選手を指導する後進の指導員や技能五輪選手の指導、現場管理に尽力している。また、自ら電子機器組立工として、訓練課題の作製作業に日々従事している。現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間○時間 1. 新規課題の検討及び仕様書類の作製（○時間） 2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善（○時間） 3. 職場内の巡視と指導員や選手への指導・教育（○時間）

364

272

249

191

**記入例**（都道府県・団体共通） ※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

**調書（１） 都道府県、団体（第22部門）**

（様式3の4、様式3の5）

令和7年11月1日 現在

都道府県番号	○	推薦都道府県名 推薦団体名	職業部門	第22部門	職種名（１）	職種名（２）
		○○県 または 一般社団法人○○協会			汎用金属工作機械工	マシニングセンタオペレーター

**推薦都道府県名欄、都道府県番号欄**

プルダウンから推薦都道府県名を選択。  
選択した都道府県に対応する番号が自動で都道府県番号欄に挿入される。

**推薦団体名欄**

正式名称を記入。

**職業部門番号欄、職種名（１）（２）欄**

「実施要領 別表」第1部門～第21部門を参考に職種をプルダウンにて選択し、記入。

**氏名・現就業先事業所名の外字欄**

被推薦者の氏名・現就業先事業所名に変換できない文字または特定のフォントでしか表示できない文字がある場合、必ず記入。

**氏名・ふりがな・性別欄**

住民票に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付け、名字と名前の間に**全角スペースを1つ挿入**する。  
性別欄は住民票に記載されている性別をプルダウンから選択する。

ふりがな	ぎのう ゆうこ	性別	女	生年月日	氏名・現就業先事業所名の外字
氏名	技能 優子	年齢	51	昭和48年10月17日	例：「藤」は草冠が「十」のように離れた字、「刃」は「刃」のように突き出る字
障害名 障害程度	障害名 身体障害 (聴覚障害)	障害程度 (等級)	2級	療育手帳 判定	【障害程度について】 ○療育手帳による程度の区分 療育手帳等で次の記載が確認される場合は「A」を選択（㉠、A、A1、A2、A3、1度、2度、A重、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度）。それ以外は「B」を選択。 ○重度知的障害者判定による重度判定 療育手帳による程度の区分「B」のうち、地域障害者職業センターが行う重度知的障害者判定を受け、判定書が交付された者について、当てはまる判定を選択。
障害の概要	<b>障害の概要欄</b> 具体的にどのような障害であるかを記入する。				
現住所	<b>障害名・障害程度欄</b> 被推薦者の障害者手帳に記載されている障害名及び障害程度をプルダウンから選択する。				
〒 000-0000	<b>生年月日・年齢欄</b> 生年月日を入力すると和暦に変換される。 入力は西暦で「yyyy/mm/dd」（スラッシュ区切り）のように入力すること。「年齢」欄は生年月日を正しく入力すると自動で挿入される。				
都道府県 ○○県	<b>現住所欄</b> 被推薦者の現住所および電話番号を記入する。都道府県はプルダウンにて選択。住民票の住所と実際に居住している居所が異なる場合は、居所を記入。				
市区町村 ○○市○○町○丁目○					
○○マンション○○号室					
TEL 000-000-0000					

**就業先欄**

所属企業欄には、雇用企業名を、自営の場合は屋号等を省略せず正確に記入（法人格を省略しないこと）。拠点名があれば記入する。（例：「○○工場」「○○支店」「○○営業所」）  
また「所在地」欄には、郵便番号、所在地及び電話番号を略さず記入する。  
推薦時に、令和7年11月1日以前に就業地の変更が確定している場合は「（○月○日より変更予定）」と記入。なお、推薦後に就業地が変更となった場合は速やかに連絡する。

**職歴欄**

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職等を順番に記入すること。  
団体歴、公職歴、家業手伝い、学生時代のアルバイト、推薦を受ける技能と関係の無い職種に従事していた期間は記入しない。ただし、いわゆる企業内学校において、推薦を受ける技能と直接関係がある職種の訓練を受けた期間は職歴とする。  
現役の職歴は最後に「として現在に至る」と記入。

就業先 (都道府県)	所属名	株式会社 ○○工業 ○○支部	職歴	在職期間（年月日）	在職年月数
企業全体の従業員数	120人	<b>企業全体の従業員数欄</b> 被推薦者も含めた人数を半角数字で入力する。就業者が被推薦者のみの場合は、1と入力する。 ※事業所の人数は記載しない。	(株)○○工業○○支部第二製造部○○課に電機工として就職	H8.4.1 ~ H27.3.31	19年0月
所在地	〒 000-0000		(株)○○工業○○支部第二製造部××課に配置転換	H27.4.1 ~ R2.3.31	5年0月
都道府県	○○県		同課の××班の指導係員に就任し現在に至る	R2.4.1 ~ R7.11.1	5年7月
市区町村	○○市○○町○○○			在職期間 計	29年7ヶ月
TEL	000-000-0000 (内線****)			重複期間を除く在職期間 計	29年7ヶ月

**表彰歴、免許・資格、大会入賞歴・技能検定等写しの提出について**

本調書に記入した表彰や入賞歴などは、証する写しを全て、「その他資料」もしくは「様式4 写真」として提出すること。  
 その際には、表彰名や免許、資格名に①、②と番号を振り、根拠となる写しのファイルにも同様に①、②と番号を付すことで、  
 どの根拠資料を示しているかが明確に分かるよう工夫すること。

表彰歴	表彰の種類	表彰の概要	取得年月
	大臣表彰	①障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰（優秀勤労障害者）	HO年〇月
	知事・行政機関の局長表彰	②〇〇県優秀勤労障害者	HO年〇月
	全国レベルの業界団体表彰		
	その他		

**表彰歴欄**

表彰を有する場合、表彰の概要及び取得年月を記入。（技能に関連して被推薦者本人が表彰を受けたもののみ記入）表彰の種類は、上段より順に該当項目に記入。

- ・「〇〇大臣賞」の場合は大臣表彰。
- ・「〇〇マスター（〇〇知事賞）」の場合は知事・行政機関の局長表彰。

**免許・資格等**

職業訓練指導員免許の取得歴・技能検定委員の委嘱歴・特許を有する者については、免許・資格等の概要と取得年月を記入し、免許等を証する書面の写しを全て添付する。

免許・資格等	免許の種類		免許・資格等の概要				取得年月	
	職業訓練指導員免許							
	技能検定委員							
	特許・実用新案等							
アビリンピック入賞歴	大会名など	開催回 認定年度	競技種目名	順位	技能検定	等級	技能士の名称	取得年月
	国際アビリンピック					一級	⑥機械加工技能士	HO年〇月
	全国障害者技能競技大会 (全国アビリンピック)	32回	③機械CAD	銅賞				
	地方アビリンピック	10回	④機械CAD	銀賞				
大会表彰歴等	技能グランプリ (一級技能士競技大会)							
	技能五輪国際大会入賞歴		<b>技能・技術が分かるサイト等欄</b> 自身の技能や技術が分かるサイト（会社・団体HP等）があれば記入。					
	技能五輪全国大会入賞歴							
	高度熟練技能者						<a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kyou_roudou/000/index.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kyou_roudou/000/index.html</a>	
	ものづくりマスター		HO年度	⑤〇〇〇〇	〇位	技能・技術が分かるサイト等 (HPのURLを記載)		
	全技連マスター							

**技能検定欄**

等級は漢数字で記入。  
 技能士の名称、取得年月を記入。

**アビリンピック入賞歴・大会入賞歴等欄**

高度熟練技能者、ものづくりマスター、全技連マスターに該当する場合は、認定された年度（元号アルファベット+数字）、業種、職種を記入。

国際アビリンピック入賞歴、全国アビリンピック入賞歴、地方アビリンピック入賞歴、技能グランプリ入賞歴、技能五輪国際大会入賞歴、技能五輪全国大会入賞歴がある場合は、開催回、参加職種、順位を記入。

**記入例**（都道府県・団体共通）※本記入例を参照の上、適切な様式にそれぞれ記入すること。

**調書（２） 都道府県、団体（第22部門）**

（様式3の4、5）

都道府県番号	都道府県名	職業部門	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	ぎのう ゆうこ
○	〇〇県 または 一般社団法人〇〇協会	第22部門	汎用金属工作機械工	マシニングセンタオペレーター	氏名	技能 優子

**過去5年の推薦回数欄**

過去5年において被推薦者が卓越した技能者の表彰について推薦された年度を記入し、合計回数を確認する。

**都道府県番号欄、推薦都道府県名、推薦団体名、職業部門、職種名（１）、職種名（２）、氏名欄**

調書(1)に記載したものが自動で反映。

過去5年の推薦回数		推薦者及び推薦理由	(所在地又は住所)	<p><b>推薦者及び推薦理由欄</b></p> <p>推薦者の所在地または住所、電話番号及びその推薦理由を記入する。推薦者氏名は、都道府県知事名または団体代表者氏名とするが、空席時等やむをえない場合は職務代行者であることを明記し、職務代行者名を記入。 都道府県知事推薦の1位の者に関しては、他の候補者と比較して最上位とした理由も併せて記入。</p>
令和4	年度		〒 000-0000	
令和3	年度		都道府県 〇〇県	
	年度		市区町村 〇〇市〇〇町〇〇-〇	
	年度		(推薦都道府県知事名) TEL 000-111-1111	
計	2 回		〇〇県知事 〇〇 〇〇 または、 一般社団法人〇〇協会 会長 〇〇 〇〇	
推薦総数等			(推薦理由)	
選考対象者総数	2人	氏は〇〇の障害があるものの、マシニングセンタオペレータにかかる優れた技能を有しており、その技能を活かして、最も重要かつ高い技能が求められる〇〇業務に指導係員として従事している。職場では障害者雇用への理解が深く、その技能の実現のためには、障害による作業効率低下しないよう、〇〇の工夫をする等職場環境の改善を図り、卓越した技能になるに至った。日々の業務においても、後進者の指導に尽くし、事業所全体の技能レベルの向上にも大きく貢献した。また、〇年にわたりアビリンピックの指導を行い、数多くの全国アビリンピック受賞者を輩出するなど、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから本被推薦者は、優れた技能を有するとともに、その技能を伝承する上で大きな役割を担っているため推薦する。		
推薦総数	1人			

**推薦総数等欄**

・選考対象者総数欄・・・推薦に当たり、被推薦者とならなかった者も含め選考の対象とした全ての人数を記入。なお、厚生労働大臣への推薦に当たり、管轄の市区町村、商工関係機関又はその他の団体等に推薦を依頼した上で候補者の選定を行っている場合は、当該推薦人数を記載し、潜在的人数を記載するなど、過大な人数を計上しないように留意する。

**卓越した技能の概要欄**

P10 4. 「卓越した技能の概要」欄に記載の各項目を参照の上記入。一業で記入することが困難な場合は、調書（3）まで記載して差し支えない。

なお、自身の持つ障害に触れながら障害をどのように乗り越えて技能のレベルを高めてきたのか、また被推薦者の技能向上のために職場環境の工夫等具体的な取り組みについても具体的に記入する。

卓越した技能の概要			
技能の概要 (障害の克服と技能研鑽への工夫や取り組み)	功績・貢献の概要	技能の指導及び育成の概要	現役性
<p>1 優れた組立技能 氏は〇〇の障害がありながらも、機械CADをはじめとした、マシニングセンタオペレーターにかかる卓越した技能を有する。1/1000単位等非常に正確さを要するこの作業について、金属の性質や回転数を考慮しながら、他の技能者であれば、その品質は〇〇単位の精度が求められるところ、その更に1/10の〇〇単位の精度までの加工を行うことによって、緻密且つ高品質な製作を行っていることから通常〇〇日かかるところ、氏は障害により遅れがちとなる作業スピードを卓越した技能によって通常〇日かかるところを〇日で仕上げ、稼働率は〇〇%アップし、且つ、高品質な製品を実現し、企業の業績にも大きく貢献している。また、氏の存在により安定稼働がなされているといっても過言でない。 このような極めて優れた技術も、氏は人一倍努力を積み重ね技能を研鑽するだけではなく、その技能を実現するため、障害による作業効率が低下しないよう、職場環境の改善として、〇〇の措置を講じるなどをした。このことによって、事業所全体の環境改善に目を向けることができ、引いては技能レベルの向上に大きく貢献した。</p>	<p>1 業績への貢献 氏の製品づくりは、高度な技能による精度の追求や、スピードだけではない。 取引先が新製品の開発の相談があれば、複雑な形状への困難とされる加工も行うことができるため、多種多様な提案を行うことができ、また、氏の提案には自信の経験から障害雇用にも配慮されたものとなっている。こうしたことから、先方の企業からは、非常に満足度が高い評価を受け、引いては売り上げ高にも貢献するなど、企業自体の信頼度も高めている。</p> <p>2 業界における障害がある技能者の技能向上への貢献 全国アビリンピックに機械CAD職種として〇度出場し、第32回大会では銅賞を受賞するなど、業界における障害がある技能者の技能向上に多大な貢献をした。</p> <p>3 社内への貢献 氏は〇〇社〇〇部門に採用され、勤続〇〇年従事しており、その知識と技能は、他の従業員の模範となっており、周囲の従業員からも相談を受けたり、指導も行っている。</p>	<p>1 第二製造部〇〇課××班における後進者指導 上記班に所属する〇名の職員に対し〇〇業務の指導を行い、職員に豊富な知識を伝えることで、事業所内の周囲や職員の後進の育成に貢献している。</p> <p>2 アビリンピックの指導 氏は過去に出場した経験を生かし、どのような指導を行えば効率的に競技大会で好成績を収めることができるか、といった感性を体得しており、第二製造部〇〇課××班の指導係員として日々〇〇業務に従事する傍ら、アビリンピックの指導を行い後進育成にも尽力している。優れた技能を用いて、〇〇年間にわたり、〇〇職種の指導を行ったことで、〇名が全国アビリンピックに出場し、うち△名が受賞した。</p>	<p>1 氏は、第二製造部〇〇課××班の職員として勤務しているが、人柄は温厚で、誰とも親しくコミュニケーションを取れる人気者であり、所属部署の職員だけでなく、社内の雰囲気づくりに貢献している。</p> <p>2 勤務態度についても、挨拶等しっかりとした礼節の下、時間に遅れることなく、熱心に業務に取り組んでいる。 1日の主な作業内容及び時間は次のとおり。</p> <p>1 〇〇業務：〇時間 2 大会指導：〇時間 (大会直前期は△時間)</p>

229

189

171

119